

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

1 愛知県支部連合会段級位獲得将棋大会に64名が参加

第15回を数えるに至った愛知県支部連合会の段級位獲得将棋大会は、青少年将棋奨励のため日本将棋連盟の特別奨励免状制度を活用して継続してきました。

このため参加対象は高校生以下ですが、今年も64名の皆さんが参加して熱戦を展開しました。各クラスの優勝者には三段～初段の免状が授与されます。その他上位入賞者は以下の通りです。

	優勝	準優勝	第三位
三段 19名	木村 隼己 (豊田高専2)	三浦 光葵 (小牧市立応時中1)	加藤 慎士 (御嵩町立向陽中2)
二段 10名	古野 知典 (瀬戸市立水南小5)	松葉 昌孝 (枚方市立蹉陀東小5)	伊覇 逞 (名古屋市立西味鏡小5)
初段 17名	安藤 拓穂 (名古屋中3)	大草 歩睦 (名古屋市立自由ヶ丘小3)	岩田 悠佑 (各務原市立那加第一小6)
級位 18名	藤澤 航希 (岐阜市立柳津小3)	小田 彰吾 (東海市立渡内小5)	伊藤 佑透 (瀬戸市立水南小5)

2 将棋フェスティバルinプライムツリー赤池

昨年11月にオープンした大型商業施設プライムツリー赤池での将棋フェスティバルの相談が5月ごろにありました。その後、開催時期のことなど何度となく協議を重ね、9月9日(日)の実現に至りました。

内容は、(1)こども将棋大会(3クラス)、(2)プロ棋士指導対局、(3)トークショー、(4)初心者コーナー&自由対局コーナー、(5)神田和徳さんの「駒材のいろいろ」となり、参加棋士は杉本昌隆七段、中山則男六段、竹内貴浩四段、中澤沙耶女流初段の4名でした。

当日は朝方スコールのような雨が名古屋東部地域に降り、大会運営の荷物搬入はずぶ濡れでの作業になるほどでした。

こども将棋大会は122名と少し予想より少なめでした。それでも開店前から参加者が並び始めて列が長くなったため、少し時間を早めた対応をしてもらいました。天候の良くない状況での参加者の多さに、プライムツリー赤池の責任者も将棋イベントの力に驚きでした。

東海普及連合会及び愛知県支部連合会の将棋行事は、6月中旬から毎週のように連続していましたがやっと一区切りとなりました。

	優勝	準優勝	第三位
小学5・6年 27名	櫻井 皓太 (海津市立石津小6)	松久 湊 (岐阜大学附属小5)	橋爪 遼 (東郷町立高嶺小5)
小学3・4年 46名	大草 歩睦 (名古屋市立自由ヶ丘小3)	安永 悠太 (みよし市立天王小4)	岡田 昂大 (長久手市立北小4)
小学2年以下 49名	安本 興生 (弥富市立弥生小2)	清水 太陽 (みよし市立三好丘小2)	松久 遥 (岐阜市立市橋小2)

3 西日本豪雨災害支援チャリティー将棋フェスティバルに400名

平成30年6月28日から7月6日の間に西日本などの地域が未曾有の豪雨に見舞われ大きな被害が発生しました。いわゆる「平成30年7月豪雨」です。

日本将棋連盟棋士会は、この西日本豪雨災害に対する支援チャリティー将棋フェスティバルを企画し、名古屋での開催を決めました。

東海普及連合会はこれまでに日本将棋連盟棋士会の主催で、東日本大震災支援のチャリティーを目的としての開催、春日井市制70周年企画での開催と2度の経験があります。



日本将棋連盟からは、棋士会会長の中村修九段、同副会長の久保利明王将、畠山鎮七段、菅井竜也王位、井上慶太九段（常務理事）、脇謙二八段（常務理事）、糸谷哲郎八段、杉本昌隆七段、船江恒平六段、竹内雄悟四段、今泉健司四段、里見香奈女流四冠、室田伊緒女流二段、中澤沙耶女流初段、北村桂香女流初段、藤井奈々女流2級の豪華な布陣でした。

午前中の将棋大会には80名の参加があり、A級～D級そして小学生低学年、高学年の6クラスで熱戦が展開されました。

また、今回の将棋フェスティバルは午後からが本番で、入場者には目まぐるしいくらいのメニューが用意されて終日将棋に親しむ機会になったと思います。

特別指導対局は、久保王将、菅井王位、糸谷八段、里見女流四冠の何れも定員オーバーの申し込みで、抽選の末、12名が幸運に恵まれました。また、指導対局は3回行われ、これも抽選で42名の皆さんが受けられました。

午後の部は、①ペア将棋 糸谷・室田VS竹内・里見、②トークショー 糸谷・竹内・今泉・里見、③クイズ対決 久保・今泉・中澤、④女流トークショー 室田・北村・中澤・藤井、⑤特別対局 久保VS菅井、⑥サイン会ツーショット、⑦色紙、書籍、扇子などのチャリティー販売、⑧オークション（藤井七段揮毫の卓上盤など）と切れ間のない催しで17時30分に終了となりました。

この日の名古屋は終日強い雨が降ったり止んだりの天候で、この雨が少し出足を止めたようです。しかし、日本将棋連盟棋士会の呼びかけに応じて約400名の皆さんが参加してくれました。集まったチャリティー募金142万円は日本財団を通じて西日本災害支援に寄付される見込みです。ご協力いただいた皆さんに心から感謝するとともに、参加された棋士会役員及び棋士の皆さんに心から敬意を表します。

	優勝	準優勝	第三位
A級 22名	高橋 道貴 (豊田市)	村山 周平 (みよし市)	宮堂 孔暉 (岐阜県養老市)
B級 12名	古野 知典 (瀬戸市)	華房 慶大 (名古屋市)	神野 来樹 (岐阜県関市)
C級 13名	荘田 知輝 (豊田市)	大島 亨 (名古屋市)	牛田 智也 (あま市)
D級 13名	小田 彰吾 (東海市)	寺澤 橙吾 (豊明市)	森本 悠太 (三重県伊賀市)
高学年 7名	鬼頭 直寛 (名古屋市立貴船小5)	平野 翔 (名古屋市立桜小6)	有馬 尚輝 (長久手市立東小5)
低学年 13名	伊藤 誇吾 (海津市立今尾小2)	松久 遥 (岐阜市立いちはし小2)	櫛田 征志 (名古屋市立名古屋小3)

4 メ〜テレ秋まつりで初めて将棋イベントを開催

9月29日(土)及び30日(日)の2日間名古屋栄のエンゼル広場でメ〜テレ秋まつりが予定され、そこに将棋イベントが初めて参加することとなりました。

この企画はメ〜テレ秋まつりを毎年開催している名古屋テレビから「今年はずいぶん将棋の企画を」との申し入れを受けて実現しました。

29日は朝から雨で、2日間の開催予定も台風24号の影響で残念ながら30日は中止となってしまいました。

内容は、小学生将棋大会、プロ棋士指導対局、初心者講座、トークショー、自由対局コーナーでした。

参加棋士は、杉本昌隆七段、中山則男六段、谷口由紀女流二段の皆さんでした。

最初のこども将棋大会はあいにくの台風の雨に見舞われましたが、定員の約1.5倍の参加希望を抽選で32名に絞っての開催でした。

10分切れ負けの4局対戦と決勝戦を行いました。その後、プロ棋士による指導対局が2回行われました。いずれも抽選で計40名の皆さんが指導を受けました。

遠くは長野県飯田市からの参加者もいて、ブースの外は大雨も、中は一部大人のファンも交じってやはり将棋の人気の強さを感じました。

また、杉本七段、中山六段、谷口女流二段のトークショーも、降りしきる雨をものともせず、約100名の熱心なファンが傘をさして立ったまま聞き入っていました。

初心者講座も2回開催しましたが、いずれも16名、10名と参加があり、女性及びこどもがスタッフから将棋を教わっていました。

企画は大変な成功だったと思いますが、台風の影響が無ければと何度も思わざるを得ませんでした。



	優勝	準優勝	第三位
小学生将棋大会 32名	丹羽 楓吾 (愛西市立佐屋小6)	納土 優真 (関市立金竜小6)	小田 彰吾 (東海市立渡内小5)
			本多 宏成 (名古屋市立八事小2)

5 第35期全国アマチュア王将位東海地区大会

- (1) と き 平成30年10月20日(土) AM9:30~受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 名古屋港湾会館第1会議室
- (3) ク ラ ス アマ王将位決定戦、Aクラス(有段者)、Bクラス(1~3級)、Cクラス(4級以下)、Dクラス(7級以下の小中学生)
- (4) 参 加 費 大人3,000円(2,500円)、大学生2,000円(1,600円)、女性・高校生1,500円(1,200円)、中学生以下1,000円(800円)
()内は日本将棋連盟支部会員(会員証提示にて)
- (5) 表 彰 アマ王将位決定戦優勝者に四段免状、全国大会招待各クラス第三位までに賞状・賞品
- (6) 主 催 日本将棋連盟東海普及連合会・愛知県支部連合会
- (7) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

6 将棋日本シリーズ東海大会

JTプロ公式戦／テーブルマークこども大会

- (1) と き 平成30年10月21日(日)
テーブルマークこども大会 AM8:50～受付 AM10:00開始
JTプロ公式戦 PM2:00開場 PM3:45開演
- (2) と ころ ポートメッセなごや第3展示館
- (3) 参 加 費 無料
- (4) 申 込 方 法 将棋日本シリーズテーブルマークこども大会ウェブサイトより
<https://www.jti.co.jp/knowledge/shogi/kids/index.html>
10月9日(火)まで
- (5) 対 局 者 山崎隆之JT杯覇者又は渡辺明棋王 VS 豊島将之棋聖又は羽生善治竜王
- (6) 主 催 中日新聞社 日本将棋連盟
- (7) 後 援 文部科学省 愛知県・同教育委員会 名古屋市・同教育委員会
名古屋青年会議所
- (8) 協 賛 JT テーブルマーク
- (9) 問 合 せ 将棋日本シリーズ総合事務局 電話03-5166-0290

7 将棋フェスティバル2018

- (1) と き 平成30年10月28日(日)
- (2) と ころ 名古屋港湾会館
- (3) 参加棋士 糸谷哲郎八段 山崎隆之八段 中田章道七段 長瀬拓矢七段
安用寺孝功六段 横山泰明六段 及川拓馬六段 都成竜馬五段
室田伊緒女流二段 中澤沙耶女流初段
- (4) 内 容 ①中部5人制支部対抗戦
時 間 AM9:30～受付 AM10:00対局開始
資 格 日本将棋連盟の支部チーム
クラス A～C級
参加費 2,000円×5人(弁当・お茶付) 中学生以下は1,500円
表 彰 各クラス第三位までに賞状・盾・賞品
②プロ棋士指導対局
時 間 1回目AM9:30～、2回目PM0:30～、3回目PM2:30～
参加費 一般2,000円、女性・高校生以下1,000円
特別指導対局(色紙付) 糸谷哲郎八段 山崎隆之八段
5,000円
③プロ棋士席上対局
時 間 PM3:00～5:00(予定)
- (5) 主 催 日本将棋連盟東海普及連合会
- (6) 後 援 中日新聞社
- (7) 協 力 日本将棋連盟愛知県支部連合会・同岐阜県支部連合会・
同三重県支部連合会 中部学生将棋連盟
- (8) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

8 第5回愛知県知事賞金鯨名人戦、金鯨こども将棋大会

- (1) と き 平成30年11月3日(土) PM0:00～受付 PM0:45開会式
- (2) と ころ 名古屋市西区役所2階講堂

- (3) 資格 金鯧名人戦 愛知県内在学の中中学生以下
- (4) クラス 金鯧名人戦
金鯧こども将棋大会 B: 小学2年生以下 C: 小学3・4年生
D: 小学5・6年生 E: 中学生
- (5) 定員 200名
- (6) 参加費 800円
- (7) 申込方法 ①氏名・ふりがな、②学校・学年、③参加希望（「金鯧名人戦」「こども大会」のどちらか）、④住所、⑤電話番号を、①はがき（〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12-21第2栄スカイタウン4A）、②FAX（052-253-9442）、③電子メール（qquz899d@tea.ocn.ne.jp）のいずれかで
10月13日（土）21:00必着
- (8) 表彰 各クラス第三位まで
- (9) 主催 日本将棋連盟名古屋支部 金鯧こども将棋教室
- (10) 共催 名古屋ウエストライオンズクラブ
- (11) 後援 中日新聞社 愛知県 同教育委員会 名古屋市 同教育委員会
日本将棋連盟愛知県支部連合会

9 和丘祭縁台将棋大会

- (1) と き 平成30年11月11日（日） AM9:15～9:50受付 AM10:00～PM16:00
- (2) と ころ 愛知東邦大学L棟4階
- (3) クラス ①有段者・一般の部、②高学年の部（5年～中学生）、③低学年の部（4年生以下）、④初級の部（棋歴1年・4年生以下又は13級以下）
- (4) 参加費 1,000円
- (5) 表彰 メダル（金・銀・銅）・賞状・賞品
- (6) 主催 と金クラブ将棋教室
- (7) 協賛 梅森子供将棋教室 名将塾 長久手将棋教室

10 今後の予定

- 10月20日（土）第35期全国アマチュア王将位東海地区大会
- 10月21日（日）将棋日本シリーズ東海大会JTプロ公式戦／テーブルマークこども大会
- 10月27日（土）～28日（日）東海テレビ感謝祭
- 10月28日（日）将棋フェスティバル2018
- 10月28日（日）第2回ミクスネットワーク杯将棋大会
- 11月3日（土）第5回愛知県知事賞金鯧名人戦、金鯧こども将棋大会
- 11月11日（日）和丘祭縁台将棋大会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会ホームページ（http://www.geocities.jp/shogi_tokai/index.html）からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp